

オーシャンズ——ぱあ！また出た！

外国語学部 英語英文学科2年 下村 ゆい

木村 有美
佐藤 静香

1. They Are Back!!

2007年夏、シリーズ作品最高峰の映画が、日本で公開となった。今回で、3作目となるこの作品は、1作目の時点では「集まつた事が奇跡」とまで映画界に言わしめていた。そんな作品が、3作まで続いたのも奇跡的なことである。なぜ、こんなにまで奇跡を連呼するかと言うと、理由は一つ、出演者のほとんどが、主演級の俳優だからである。まず、オーシャンズのリーダーであるジョージ・クルーニーに始まり、最近では、社会問題やフィクションを中心とした映画で活躍中の、ドン・チードルまで、幅広い分野で活躍中の俳優を集めた映画なのである。

そこで、この映画がなぜ、豪華セレブ俳優の

魅力了する、クールな映画の代名詞になることが出来たのかを検証していきたい。そして、その中で、毎回重要な役割を持ち、この映画の3大主演俳優とも言える、主要3人の、映画での役割や、魅力を紹介していく。また、彼らを紹介するにあたり、紹介する人物が変わる毎に、筆者も変わっています。私たちの文章の個性を生かし、適切な人物に割り当てた。適材適所、まさに実生活でのオーシャンズである。



2. ①オーシャン (ジョージ・クルーニー)

☆

クールな犯罪チームのリーダー、ダニエル・オーシャン (ジョージ・クルーニー)。毎回、幅広い友好関係の中から、選りすぐりの人材を集め、大金を稼いでいる。しかし、情に厚い性格のため、事の発端となるのは、彼の【情】関係の事が多い。記念すべき1作目は、妻 (ジュリア・ロバーツ) の【愛情】を取り戻すために仕事を始める。2作目は、オーシャンよりラスティ (ブラッド・ピット) の恋愛事情の方が色濃かつたが、恋愛に悩む親友を手助けするオーシャンとの、男の友情は見逃せない。そして、今回の、この新作でも【友情】を懸けて、仲間を集め、全員で仕返しをしに行く。そんな、常

に仕事に私情を挟む男でも、計画性に長けてお

り、リーダーシップもあるので、チームの頼れるリーダーとしては申し分ない人物だ。

私は、彼ほどクールなリーダーは今のところいないと思う。リーダーと言えば様々な姿が想像されるが、そのほとんどが、アクション映画で勇ましく敵に向かっていくような姿だと思います。そして、自分の感情を抑え、献身的に仲間を守るという特徴が代表的だろうか。しかし、この映画では、まず、事の発端がリーダーの私情である。そして、一見関係ないような大きな任務中にも私情を挟み、チヨロッと勝手な行動をとるため、命 (＝その道の職人としての) を懸けて任務遂行中の仲間まで危険にさらす。せっかくみんなが、ありえないくらいスケールの大きい仕事を、順調にやつてのけているのに、オーシャンを見ているとヒヤヒヤする。しかし、失敗したら失敗したで、「あーあ」という顔をし、あとは先を全て読んでいるような表情でニヤリとする彼こそ、最も現実的なリーダーだと思う。しかし、もし私が作戦にはめられても、あの笑顔を見たら、得をしたとさえ思つてしまふかもしない。

②ラスティ (ブラッド・ピット)

☆☆

オーシャンズメンバーの中でエースといえば、ブラッド・ピット演じるラスティであろう。ブラッド・ピットはそろそろ年を感じてきた為か、整形を考えているようだが、オーシャンズシリーズでは一枚目の役を演じているし、それがまだまだはまっている。ラスティはオーシャン (ジョージ・クルーニー) の右腕的存在である。その二枚目な容姿に加え、優れた頭脳と行動力を持ち、お金もある。オーシャンズメンバーからもそのような印象と信頼を得ているのだ。オーシャンズ13の中では、敵役の非道なホテルオーナーのバンク (アル・パチーノ) の優秀な美人秘書であるスボンダ (エレン・バーク) を作戦遂行のために誘惑しなければならない時に、メンバーは満場一致でラスティが適役だと述べた。しかし、実際はライナス (マット・ディモン) の強い要望で彼がその役をやることになつたのだが：しかし、ラスティが一貫してカッコいい役どころだけを引き受けているわけではない。本編中、バンクのカジノを潰すために、「自然現象」を起こすことが大きな力となる。そのバンク潰しのために重要な「自然現象」の一つ、「地震起こし」のくだりで、

③ライナス (マット・ディモン)

☆☆☆

♪そんなプロ集団の中で、ライナスは母性本能をくすぐるような可愛さを持ち、それでいて中性的仕事にトライしていく好奇心旺盛なヤツ。

そんなライナスが私は大好きです☆★どうかこの、かわいいライナスを、自分の息子の成長をみる感覺で、みなさん見守つてやつてください！（もうすでに母親気分♪笑）

2.5 マット・デイモンの補足

この映画では彼は、頭はいいけど理屈っぽく、ドジで子ども扱いされるスリの役をやっていました。映画の完成試写会での舞台挨拶や、雑誌のインタビューなどを読むと、理屈っぽさはあるませんが、彼のコメントはユーモアと知性に溢れていて、映画のキャラクターと似ていると思う人も多いのではないでしょうか。しかも、舞台挨拶となると、共演俳優達から一斉に、終始イジられる彼を見て、「オーシャンズ」シリーズの彼は「素」だと、誰もが考えると思います。そこで、「素」以外の彼の様々な一面を知つてもらうため今までの経歴を紹介していきます。

彼の代表作でもある「ボーン」シリーズは、彼の俳優としての存在を印象付ける作品です。組織の秘



3. 仲間を見つけよう

さて、彼らの魅力が伝わったでしょうか。こことは、まだこれから観ようとしている人や、3作全て観賞済みの人でも、魅力に気付けるようにお伝えしました。もし、興味が湧いて、すぐ観てみようと思った人は、もう1回観てみようかと思つた人は是非ご覧下さい。20号館の3階、言語研究センターなら、授業の空き時間を使って、1人でゆっくりと映画が見られます。

画像リンク

<http://kswcd.blog14.fc2.com/blog-date-200605.html>

<http://www.eigaseikatu.com/title/img-17669/1/>

密計画に一人で立ち向かう、「強くて頭の切れどなりました。しかし、このように今までの心的仕事にトライしていく好奇心旺盛なヤツ。

それまでのマットは、彼がハーバード大学出身ということもあってか、才能に恵まれている

が、なかなか幸せを掴めない学生の役か、弁護士の役が多い気がします。そのため、前述した

「ボーン」シリーズが出るまでは、「賢くまじめな青年」というイメージが広く知られていました。なので、舞台挨拶などで、話す彼を見ると、「頭は良さそうだけど、やっぱり役とは少し違う」と、彼自身と役とを同一人物と考えることはありませんでした。

「ボーン」シリーズでは、先に言つたように、彼にクールなイメージを持たせる役柄でした。しかし、この作品について終始ニコニコ可愛らしく話し、主人公との共通点についての話題では「僕は普段からドジですから」と答えるカワイイ彼に、役柄を重ねた人は、居ないのでないでしょか。また、このインタビューで「もし自分が、ボーンのような状況に置かれたら？」という記者からの質問に、「最初の方で死んでるね」とも言つていました。弱すぎるよ！

そのような経歴の中、「オーシャンズ」シリーズに出演し、「ボーン」シリーズ同様、大ヒ

P.S. その謙虚な身の引き方がセクシーなんだよ！
ト・デイモンが選ばれました！しかし、謙虚な彼は、「嬉しいけど自分はふさわしくないから…」と、代わりにスポーツ選手を推薦して、受賞を辞退してしまいました。

人によって観方は様々だと思いますが、やつぱり1作目から観た方が楽しめると思います。あと、今更言うことでもないですが、この映画は11、12、13から成る3作品です。タイトルの数字は、その作品に出てくる、オーシャンズチムの人数です。

終わりになりますが、この記事を書いて、私たちは、大学生活で最高の仲間と出会い、オーシャンズのようなチームを完成させたいと思いました。そのために、自分の能力を磨いて、魅力的な人間に：やっぱり、早寝早起きという、基本にして究極のリズムを身につけることで、成功への道が見えてくると思います。皆さんも色々な映画から、色々な事を学び取つて成長して下さい！

ット作品となり、彼の代表作品が一つ増えることとなりました。しかし、このように今までの役歴を見ていると、この「オーシャンズ」シリ

ーズのマットは本当に、「素」の彼に一番近いのではないかと思います。彼の映画は、受賞作品が多く、観て損をすることはまずないので、ぜひチェックしてみて下さい。

最後に、この映画に関連して、毎年アメリカのPeople誌で発表される、「最もセクシーな男」について紹介します。その賞では、ジョージ・クルニー、ブラッド・ピットは受賞の常連です。しかし、ここ数年、このオーシャンズチムで、イジられ役のお子ちゃまマットをこの賞に推す動きがありました。ジョージやブラッドは、公に出るたびに「マットは世界一セクシーだ」とメディアにふれまわつており、その甲斐あってか、2007年の最もセクシーな男にマット・デイモンが選ばれました！しかし、謙虚な彼は、「嬉しいけど自分はふさわしくないから…」と、代わりにスポーツ選手を推薦して、受賞を辞退してしまいました。